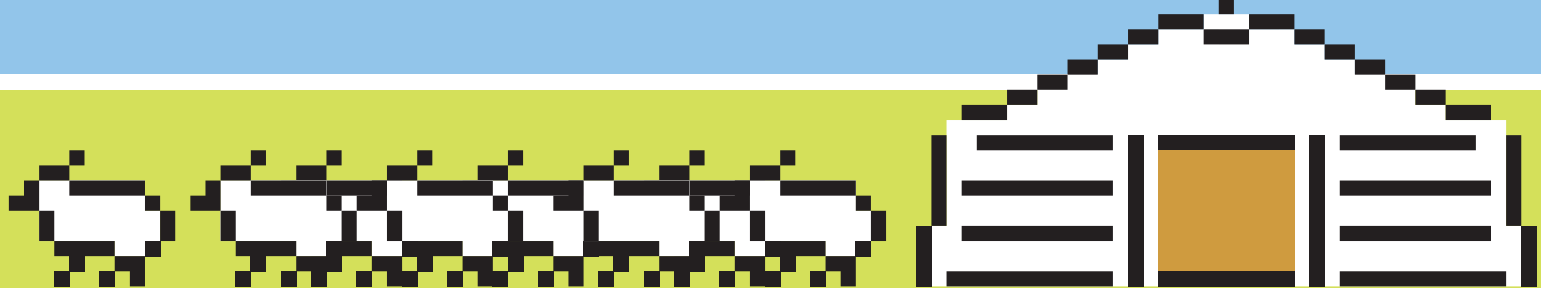


言葉の壁を 乗り越える デザインと 伝え方



大量情報時代を迎えた今日、ビジネスや教育現場など様々なシーンで「情報伝達スキル」が強く求められています。一方、伝えたいことが本当に理解されているのか不安を感じる人も少なくありません。当講座では、グローバル社会の進展に伴い発展してきた「インフォメーションデザイン学」の視点から、スライド発表や資料作成に役立つ図解やグラフの適切な活用法をワークショップを交えてご紹介します。講師の国内外でのデザイン制作実務・研究・教育経験をもとに「わかりやすい情報」の本質を探っていきます。

2019年12月14日[土] 13:30-16:45

明治学院大学(白金キャンパス)

〒108-8630 東京都港区白金台1-2-37

- 参加費 4,000円(日本美術教育連合会員・学生・院生=2,000円)
主催 公益社団法人 日本美術教育連合
お問合せ 連合事務局 東京造形大学 山田猛(yamada@zokei.ac.jp)
講座内容 13:30-15:00 講演(国際コミュニケーション、図解術)
15:15-16:45 図解作成ワークショップ

お申込みはウェブサイトから

<https://www.kokuchpro.com/event/b20107ecd066c06251cc613351917717/>



講師

きりやま たけひろ

桐山 岳寛

大同大学情報デザイン学科専任講師。1981年生。東京学芸大学卒業、英国レディング大学大学院修了(MA Information Design)。モンゴル国立工業美術学校グラフィックデザイン科講師等を経て現職。専門はインフォメーションデザイン学。受賞に米国IDA Design Awards Bronze medal(Print-Books部門/2019)、米国American Graphic Design Award(2018)、モンゴルRajiv Gandhiin Neremjit Shagnaltan(デザイン教育活動/2013)など。著書に『説明がなくても伝わる図解の教科書』(かんき出版)。同書は台湾でも翻訳刊行されている。